



校長室だより

校長 山崎 聡子

非行防止教室

5月24日(金)、非行防止教室を実施しました。座間警察署の方、補導員・指導員の方々が来校されました。5・6年生は、学校のルールを含め、社会のルールを守ることの大切さとともに SNS の使い方について学習を行いました。社会のルールを守らないことによる法的な責任についての話や SNS で投稿した情報は全世界に拡散し回収は決してできないことや、顔の見えないゲームサイトと犯罪とのつながり等、具体的な事例を交えながら、わかりやすく話をしてくださいました。最後に、みんなに期待することとして、3点話がありました。

- ① やってよいことなのか悪いことなのか、善悪についての判断をする力をつけてほしいこと。
- ② 他人の気持ちを考えて行動する思いやりの心をもつこと。
- ③ 悪いことはしない、流されないという強い意志をもつこと。

外部機関の方からもお話をいただくことで、子供たちの学びも深まったのではないかと思います。

1年生から4年生への子供たちには、補導員さんと指導員さんが、砂場で遊ぶ友達2人とそれを見ていたもう一人の子供との関わり方について、子供たち一人一人に考えさせながら、話を進めてくださいました。友達に言われていやなことは言わないこと、何か貸してほしい時には、勝手に使ったりせず「貸して」と言ってから使うようにすること等、お互いのことを考えながら行動すること、相手

の心を傷つけてしまった時には謝ること、いやなことがあった時には、相手に手を出すのではなく言葉で伝えるようにすることの大切さを子供たちとやりとりをしながら話をしてくださいました。

5・6年生に期待することとして話があった「善悪の判断・思いやり・強い意志」は、どの学年においても、道徳の時間で学習する内容項目になっています。道徳の時間で学習することを要としながら、学校教育活動全体につなげて子供たちの心が豊かになることを目指して関わっていきたいと思います。

今回の非行防止教室での話についてご家庭でも話題にしていただき、子供たちのより良い成長につなげる大切な機会にさせていただければと思います。

子供のすてきな思い

5月17日(金)に行った朝会について、前回のお便りでお知らせいたしました。朝会後の振り返りを読ませていただきました。その中の一つを紹介します。

ちょうかいのふりかえり

わたしは、人のいいところを考えて、その人にいいところをつたえることを学びました。理由は、人のいいところを考えて、その人というと、いった人も、いわれた人もいいきもちになるからです。今までは、それがあまりできませんでした。なので、これからは、人のいいところをみつけてつたえたいです。

子供たちが心を動かし、前へ進もうとする姿がすてきです。より良く生きていきたいという思いをもっている子供たちに寄り添っていきたいと思います。